



みんなのお家で
使われているお水は、
森から届くのよ。



ここは浄水場といって、
川から送られてきた水を飲めるように
きれいにしているの。

浄水場

取水堰



ここは取水せき。
川の水をせきとめて、
ポンプで浄水場に送っているのよ。

かながわの森と水を支える財源

920万人を超える県民が毎日使うかながわの水。それを育む水源環境を守るために、県民の皆さんに「水源環境保全税」(個人県民税の超過課税)という特別なご負担をお願いしています。

県では、県民の皆さんからいただいた「水源環境保全税」をもとに、水源環境を保全・再生する取組を進めています。

納税者
一人当たりの平均負担額は?
年額約880円

適用期間は?
令和4年度から令和8年度まで(5年間)

税込規模は?
年額約42億円(5年間で約210億円)

税率※1

区分	標準税率(ア)	上乗せ率(イ)	合計(ア+イ)	(参考)市町村民税の標準税率
均等割	1,000円	300円	1,300円	3,000円
所得割	※2 2%	0.025%	2.025%	8%
	※3 4%	0.025%	4.025%	6%

※1 令和6年度から令和8年度までの税率
※2 政令市に住所がある方
※3 その他市町村に住所がある方

かながわ水源環境保全・再生
イメージキャラクター
かながわ しずくちゃんです!

よろしくね♪



かながわ しずくちゃん

検索

誕生日
大昔からいます
(年齢はヒミツ!)

性別
女の子

好きな食べ物
おいしい水を使った食べ物

得意なこと
空を飛んで、山や川を見に行くこと

生まれたところ
丹沢の山奥

お仕事
かながわの水源環境を守るための取組を応援・PRすること

水源環境保全・再生事業のくわしいことは…

県ホームページ

「かながわの水源環境の保全・再生をめざして」

※画面下部の「資料集」から、様々な資料をご覧いただけます。

かながわ 水源環境

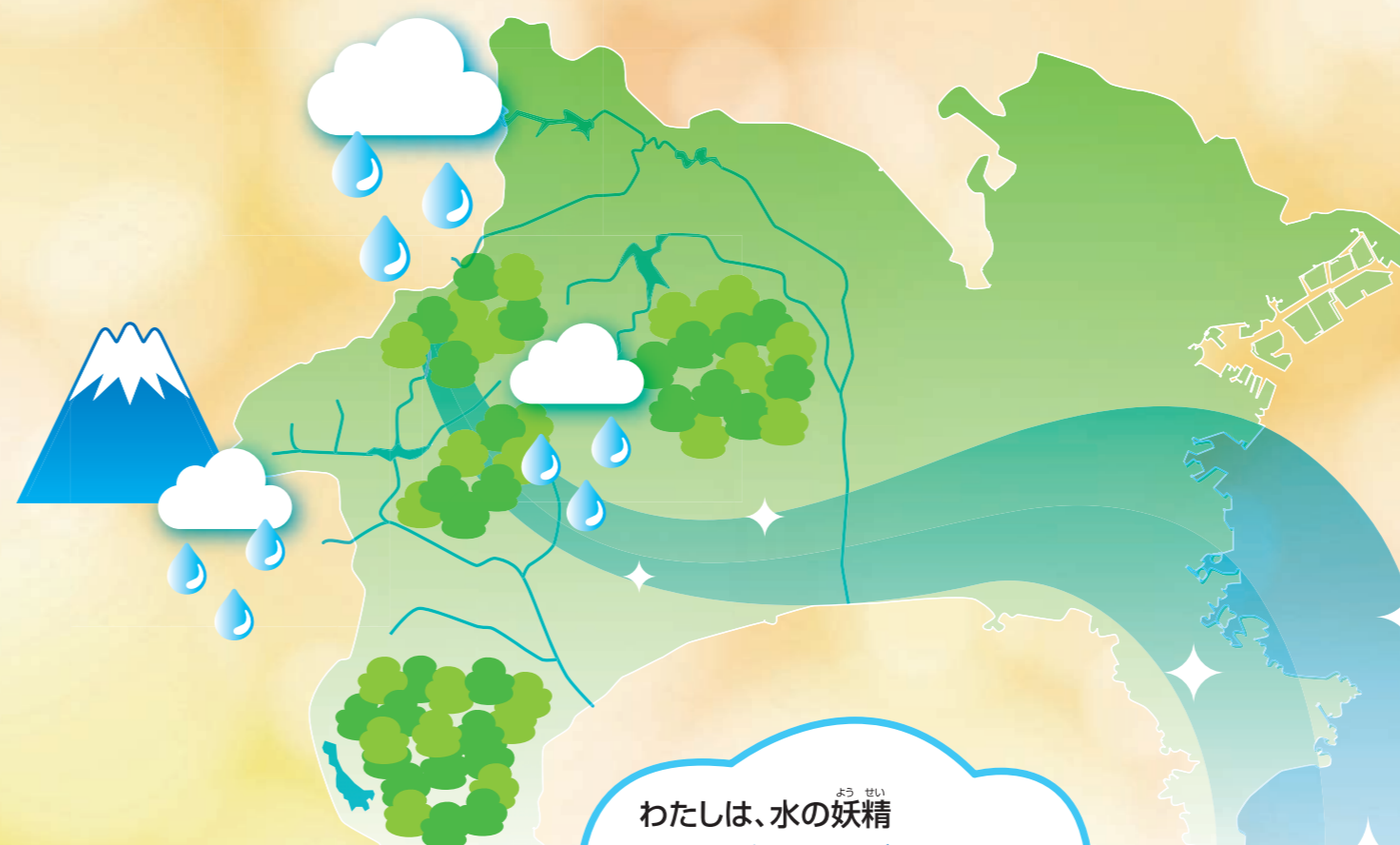
検索



発行：水源環境保全・再生かながわ県民会議
水源環境保全・再生の取組について、広く県民の皆さんの意見を反映しながら進めていくために、有識者・関係団体・公募委員で構成された組織です。

資料請求・問合せ先：
神奈川県 環境農政局 緑政部
水源環境保全課 水源企画グループ
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
Tel 045-210-4358(直通) Fax 045-210-8855

森は水のふるさと



わたしは、水の妖精
かながわ しずくちゃん♪
これからわたしと、
かながわの水のふるさとを
めぐる旅に出かけよう!



水源環境保全・再生
イメージキャラクター
かながわ しずくちゃん

しずくちゃんと

水のふるさとを訪ねてみよう!



森



森に降った雨水が
川を流れてダムに流れていくよ。

ダム



ダムは上流から流れてくる
水をたくわえ、
下流へ流す水の量を調節する
お仕事をしているの。

森はとても大切な
はたらきをしているの。

森のはたらきを見てみよう!

森のはたらきを見てみよう!

わたしたちが使っている水道の水は、もとをたどれば森に降った雨なの。森は、人が造ったダムと同じようなはたらきをすることから、“緑のダム”とも呼ばれているのよ。



緑のダムってどういう意味?



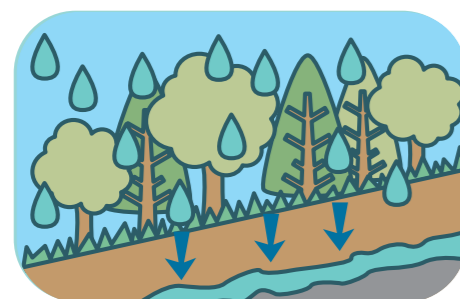
森にはこんなはたらきもあるよ!

● 森は水を貯えます



森の土の中には、スポンジのような細かい小さなすき間がたくさんあります。このため、降った雨を土の中にしみ込ませたり、地下水として貯え、大雨や日照りに関係なく少しずつ流れ出すようにする働きがあります。

● 森は水をきれいにします



森の土の中にしみ込んだ雨水は、土や岩のすき間を歩いていくうちに、ゴミが取り除かれ、岩の成分が溶け込んで、おいしい水になって川に流れこみます。

● 森は山崩れを防ぎます



森の土の中では、木々が太い根や細かい根をはって土砂をおさえ、雨が降っても山崩れや落石を防ぎます。また、森の土はしみこんだ雨をゆっくりと少しずつ川に流し、下流の洪水を防ぎます。

元気な森を育てるために

神奈川県は森の約4割は、木材を生産するために植えられたスギやヒノキなどの人工林です。ところが林業が盛んでなくなってしまい、手入れ不足により、木々が混み合って生えている暗い森が増えてきました。こういう荒れた森は日光が入らず、下草も生えないので、降った雨水もすぐ流れ出てしまいます。すると、雨水といっしょに土もどんどん流れてしまうため、写真のように木の根っこが浮いてしまうのです。大雨が降ったら、山崩れになることもあります。



間伐 混み合った木の本数を減らします。

森が荒れると、“緑のダム”の機能を果たさなくなってしまうんだね。これでは生き物もすみにくいよね。それじゃあ、森を元気にするにはどうしたらいいのかな?



枝打ち 余分な枝を落とします。

元気な森を育てるには、混み合った木の本数を減らしたり、余分な枝を切り落としたりすることで、森の中に日光を入れて、下草が生えるようにする必要があります。



わあ～、明るい森になったよ! 草木が生えて落ち葉の積もった土は、ふかふかでやわらかくて、スポンジのように水を貯えることができるの! これなら生き物もすみやすいよ!



いつまでもおいしい水が飲めるように

みんなの大切なながわの水を守るために、神奈川県では特別な取組を進めているんだよ!

森は…

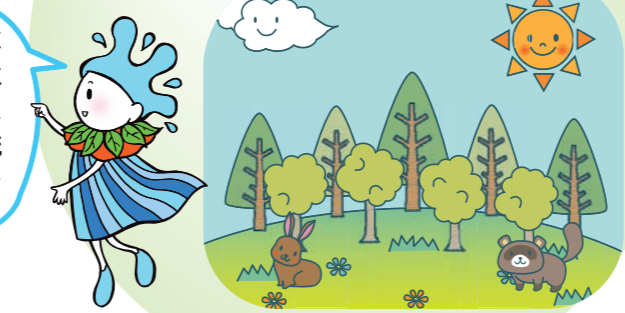


手入れされた人工林(松田町 やどりき水源林)

神奈川県がやっていること

間伐・枝打ちなどの手入れをして、森林の管理や整備を計画的に行っています。また、相模川上流域では、山梨県と共同して森林整備を進めています。

日光が入って明るく、草木の茂る元気な森になっているでしょ! 土に水を貯え、ゆっくりと流す“緑のダム”の機能を発揮しているよ。



川は…



多自然川づくり(厚木市 善明川)

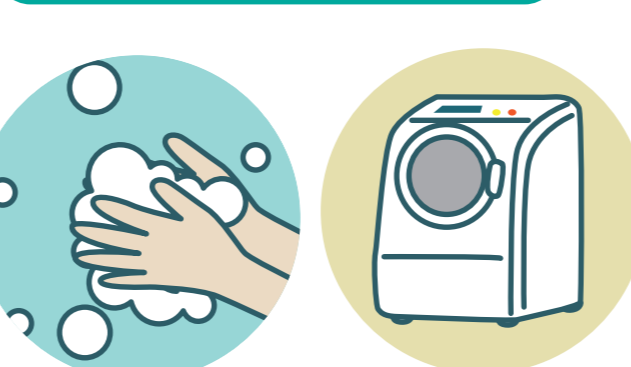
神奈川県がやっていること

市町村が行っている川や水路の水質をよくするための整備を支援し、自然豊かできれいな川になるようにしています。

たくさんの生き物がすめる川になっているね! 自然の力で川がきれいになるよ!



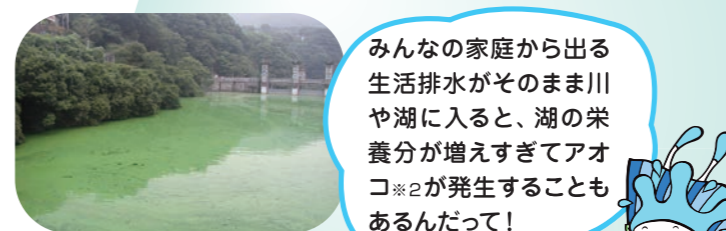
みんなが使った水は…



※1 合併処理浄化槽とは…生活雑排水(風呂、台所等の排水)とトイレ汚水を同時処理する浄化槽です。

神奈川県がやっていること

生活排水で川やダム湖の水を汚さないように、下水道整備や、合併処理浄化槽※1の設置を進める市町村の取組を支援しています。また、山梨県と共同で、生活排水の対策を進めています。



平成18年に発生した様子

※2 アオコは水道水のカルビ臭の原因となります。

わたしたちが飲んでいる水はどこの水?



すごーい! 横浜や川崎を含む県内の水道の約9割が、相模川と酒匂川の2つの川の水によってまかなわれているんだね。相模川のダムに流れ込む水の多くは、山梨県から流れてきているよ! みんな、自分がどの川の水を飲んでいるのか分かったかな?

